

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（1月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

みなさまこんにちは。1年間の留学が終了してしまい、今回は最後の報告書となります。1月は13日までしか台湾にいませんでしたが年末年始から最後までとても充実した、とても濃い時間を過ごすことができました。

【年越し旅行】

① 12/30-1/1

台湾最後の国内旅行はずっと行ってみたかった日月潭、阿里山と雲林縣へ。台北から日月潭へはバスで、年末の渋滞もあり5時間と長時間の乗車となりましたが、直通で行くことができました。現地で以前福井大学に留学していた台中で仕事をしている友達と合流し、サイクリングをして美しい風景を楽しみました。日月潭は紅茶など



茶葉も有名な場所です。その後台中へ戻り、友達の家泊めてもらい、次の日には阿里山へ向かいました。阿里山は嘉義縣にあり、まずは嘉義を観光しました。嘉義名物の鶏肉飯を食べ、檜意森活村(Hinoki Village)と呼ばれる、日本統治時代の建築をリノベーションした観光地区へ行きました。台湾にはこういった歴史を感じさせる場所が観光名所として多くあるので興味が引き立てられます。この地区内では日本の観光地のように、浴衣を着て回っている人や偽物の桜の木があったり抹茶ソフトクリームが売ってたりしました。その後、ついにバイクで阿里山へ！！運転してくれた友達には本当に感謝



です。約1時間半でゲストハウスに着き、2018年最後の夕日を見に行きました。夕日の見えるスポットの近くにはたくさんの茶畑もありました。夕日も左の写真のようにとっても綺麗に見ることができました。標高が高い地点なので大変寒かったですが、たくさん服を着て布団の中で眠りながら年を越しました(笑)1月1日の朝は5時に起き、ご来光を見に行きました…が、

雲が多く見ることはできませんでした。残念でしたが、気の置けない友達と自然の中で過ごした年越しは一生の思い出です！

② 1/1-1/2

阿里山鉄道を見に行き、山中にある老街を散策してから嘉義市内に戻りました。嘉義市内にも阿里山鉄道の展示がしてある公園があり、それもまた見に行きました。休憩後電

車に乗り、友達は今中へ、私は隣の雲林縣の斗六という場所で下車。ここには福井大学と協定を結んでいる雲林科技大学があり、半学期前まで福井大学にいた別の友達がいます。その子の家に1泊させてもらい、次の日は近くを散策しました。台湾の中では田舎でしたが、伝統的な建造物や老街を楽しめました。そして、なんとここで日本語が話せるニュージーランド人の英語の先生に遭遇します。話している内に、彼の住む別の市を車で案内して下さると言うことになり、虎尾という隣の市へ連れて行っていただきました。大規模な砂糖工場や壊れかけている統治時代の日本の建物や人形劇の博物館を見せてもらいました。台湾の歴史を垣間見れ、とても興味深かったです。



【期末テストとその後】

楽しい年越しの後待ち構えていたのは期末テストです。経営学と日本語から中国語への翻訳、Introduction to Literature のテストがありました。どれもしっかり勉強しておく必要があったので、数日間真剣に取り組みました。しかし、台湾生活は残り1週間、お別れをしたい友達もいたので、一緒にご飯を食べ、他の時間は勉強という形でした。それでも最後に会いたかった人にはだいたい会ってお別れを言うことができたので良かったです。そうしてテストを乗り越えると残された日はあと3日でした。それでも、この一年間毎月のように遊んでくれた私の福井でのバディやルームメイト、他の台湾人の友達とも出かけることができ、最後まで友達が空港まで見送ってくれて、幸せでした。

【最後に】

早いもので約1年間の留学が終わってしまいました。私はどんどん台湾が好きになっていって、帰るときはたくさんの大切な体験をさせてくれた台湾を離れたくなかったし、大好きな台湾の人々と別れたくないという思いでいっぱいでしたが、本当に、本当に悔いのない1年を過ごすことができました。留学に行かせてくれた家族やこれまでサポートして下さった方々、台湾人の友達に感謝の気持ちで一杯です。この報告書も誰かに楽しんで読んでいただければ幸いです。ありがとうございました、謝謝！！

